

令和5年4月1日

## 令和5年度 府中市立本宿小学校 学校経営方針

校長 藤咲孝臣

### 1. はじめに

○東京都の教育目標

○府中市の基本理念

「全ての子どもが、人格の完成に向け、ふるさと府中に誇りを持ち、知性や感性を磨き、豊かな人間性を備え、心身ともに健康に成長していくために教育委員会、学校、家庭、地域、関係諸機関が相互に連携、協力、役割分担、支援しながら子供たちの成長を担っていきます。」

(第3次府中市学校教育プラン(令和4年～令和12年)より)

### 2. 本校の教育目標

心身ともに健康で、知性と感性にとみ、自ら学ぶ実践力をもつ人間性豊かな児童「輝きのある子」の育成を目指す。

○「自分の考えをもち、やりぬく子ども」(問題解決力) → あきらめない心 折れない心(粘り強さ)  
自ら主体的に考え課題意識をもち問題を粘り強く解決していく能力や態度を育成する。

○「豊かな心をもち、仲良く助け合う子ども」(人間関係形成力) → 自他の理解と尊重(他者意識)  
人権を尊重し、公共の精神を貴び、お互いを認め励まし合う温かな心や他人を思いやる心を育成する。

○「健康安全に気を付け、体をきたえる子ども」(実践力) → 丈夫な体から丈夫な心へ(健康な心と自他の生命を尊重し自ら健康を保ち、体力づくりに取り組む態度と実践力を育成する。)

### 3. 目指す学校像

創立53年目として、これまでのよき伝統を受け継ぎながら、ふるさと府中に誇りを持ち、世界に活躍する府中っ子を育てる。保護者、地域の信頼に応え、教育目標である「輝きのある子」の育成を目指す。

(1) 子供が第一の学校づくり → 明日も来たくなる学校

◎子供たち一人一人に勇気や希望を与え、よさや可能性を引き出す学校

→ 本宿小の子供たち一人一人を教職員全員で見守り、励まし、育てていく。

①安心、安全な学校：学校は、子供たちに安心感をもたらす場。

○災害、事故防止のための教職員による確実な対応→確実な安全点検 避難訓練、気づいたら行動へ

○子供に安心感をもたらす学校経営→良好な子供と教師の関係、子供同士の関係、集団の関係づくり

②心の温かい学校：学校は、子供たちが、自分自身を認め、相手を認め、成功や失敗が認められる場

○あいさつ指導の徹底→いつでもどこでも自分から(友達、先生、保護者、地域との人間関係づくり)

○「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」を言える子どもに

○いじめの防止、助け合いと思いやりの心を育む→道徳教育 人権尊重教育の推進

○相手の立場の理解、自他の尊重の心を育てる→友達からの学び

○学校は失敗してもいい、間違ってもいい所→失敗からの学びを大切に

③一人一人のよさや可能性を引き出す学校：学校は、子供たちに夢を提供する場

○夢を語り合い、目標をもたせる→楽しい活動を通して、生きる喜びや学ぶ楽しさを感じさせる。

○「自分もやれば可以的」「自分にはこんな力がある」などを子どもたち一人一人に意識させ実感させる学習や行事の推進→自尊感情や自己肯定感、自己有用感を育む キャリア教育の推進

○力を引き出すための多様な場の設定→交換授業の実施 学級を解体した授業 他学年とのコラボレーション（交流や発信など） （授業力の向上と児童理解の深化につなげる）

○子供が主役の学校行事を実施→活躍できる場や役割をもたせ、やり遂げる喜び、達成感、成就感や満足感を実感させる。

○グローバルに活躍できる子供の育成→3week の設定により、異文化や自国の文化の理解を深める。

④たくましく自立を目指す学校：学校は、子供の心身を鍛え、人間として広げ深める場

○問題解決型の学習、体験学習の推進→子供たちが主体的に学び、互いに学び合い高め合う授業展開

○漢字や計算など基礎的・基本的な学習の定着→個の課題に応じた学習 （朝学習や家庭学習の活用）

○体力の向上→外遊びの推進により運動の習慣化・日常化を図る。クラス遊びの推進。

○基本的な生活習慣、学習スタンダード、3つの「あ」（挨拶、安全、後始末）の定着を図る。

(2) 教職員が学び合い磨き合う学校づくり → 「チーム本宿」として教職員も輝く学校

①教職員一人一人が自覚をもつ。

○社会人として、公務員として、教員（教育公務員）としての自覚を常に念頭に置き、教育活動に真摯に取り組む → 法令遵守 服務事故を起こさない意識と環境

②教職員が互いに協働する

○教職員がそれぞれのよさやもち味を生かして、教育活動にあたる。→授業交換 合同授業の実施

○組織として共通の目標に向かい、意欲・智恵・行動力を結集する。→報告・連絡・相談の徹底

○組織として意図的計画的に教育活動を推進させる。→学年学級経営のための学年会 週案簿

③教職員が互いに磨き合う

○授業改善や指導力向上に向けて、自己研鑽に励む。 → 特別支援 ICT レガシー等

○研修と修養に努め、常に自分自身の資質・能力の向上を図る。→ 校内研究 府教研 各種研修

(3) 保護者・地域と協力・連携する学校 → 保護者・地域とともに子どもを育む

○学校は保護者からの信託を受けている場である。また、学校は地域の歴史の中にあり、地域の人々の生き方が根付いている。→ 保護者・地域の理解と責任と信頼関係が大切である。

①保護者・地域に広がる

○学校の教育活動を、家庭や地域に広げ、児童の実践力を高める。

②保護者・地域から学ぶ

○保護者・地域の方から学ぶ → ゲストティーチャーなど保護者や地域人材の活用

○歴史的・文化的施設や地域行事から学ぶ → 地域環境や地域資源の活用

③保護者・地域とつながる。

地域行事に参加する。地域活動に貢献する。施設を地域に開放する。